

# ガラス繊維経糸壁紙の施工上の注意点

施工方法はビニール壁紙とは異なります。下記の施工上の注意点到留意して施工して下さい。

## 1. 下地の準備

壁面に付いている埃や汚れをタオル等で、乾拭きして落として下さい。ヒビ割れや穴があいている場合は、パテで埋め、凹凸はサンドペーパーで磨き、出来るだけ表面を平らにして下さい。

- ①パテはペースト状又は粉末状の水性のものを用いて下さい。
- ②シーラー材は水性のものを用いて下さい。

## 2. 接着剤

JIS マークの表示されたものか、これと同等以上の品質を有するもので、水性エマルジョンタイプを用いて下さい。

## 3. 下地調整

- ①下地材と同じ基材を用いて、試験張りを行って下さい。
- ②張り下地の表面全面にシーラー塗布して下さい。

## 4. 糊の塗布

- ①濃い目の糊を用いて、壁紙の裏面に糊を塗布します。(手で塗布する場合には、力を平均にゆっくりローラーを転がし、糊が均一になるように塗り広げます。最初は W 字型に塗り、次に一定方向に塗り揃えて下さい。)
- ②オープンタイムを目安として 10 分～15 分程度とり、すぐには貼り付けしないで下さい。(オープンタイムとは、壁紙の裏面に糊を塗布後、寸法が安定するまでの時間をいいます。)
- ③オープンタイムを充分に取らないで施工すると、浮きの原因となり、ジョイント部の目地スキの原因ともなります。
- ④たて糸壁紙(ワープ製品)を施工する場合には、施工する壁紙片(必要長さに切った壁紙片)を絶対に折り曲げないように、注意して下さい。もしも壁紙が、裏面に接着剤を塗布された後に、きつく折り曲げられると、消えない折れジワがで きます。この折れジワは施工後にも跡が残ります。施工する壁紙の裏面に接着剤を塗布した後は、折れジワをつけないように、その壁紙片を大きくゆるく丸め、上積みはしないで、1枚ずつ注意深く運んで下さい。

## 5. ジョイント時のカッター

ストライプ品の場合、ジョイント時のカッターの切り込みは太糸(ストライプ糸)と太糸の中間部で行って下さい。太糸の際でカッターを入れると太糸を押さえている細糸(緯糸)が立ちます。

## 6. 施工後の乾燥

施工後は接着が安定するまで自然乾燥させて下さい。急激な乾燥を防ぐため、窓、ドアの解放による通風や直射日光の照射は避けて下さい。浮きやジョイント部の目地スキの原因ともなります。

## 7. 天然素材に近い風合い質感

本商品のガラス繊維の経糸壁紙の特性として、ナチュラルな天然製品に近い風合いを出す為に糸の毛羽や多少の色のムラ等があります。これは天然素材特有のばらつき、色あいや柔らかな質感の特性をなるべくそのまま活かす為のもので欠陥ではありません。

## 8. 取り扱い上の注意

本商品にカッターを入れて切断しますと、ガラス繊維の塵が飛散して、皮膚、眼、鼻や喉などに触れ、一時的にかゆみを引き起こすことがあります。切断にはよく切れるカッターを用い、下記の点に注意して下さい。

- ①作業服は長ズボン、長袖を、また防塵マスク、保護眼鏡を忘れずにご着用下さい。
- ②特に、眼に塵が入らないように注意し、入ったときは直ちに眼を洗って下さい。
- ③かゆみ等の症状が続くときは、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- ④取り扱い後は、顔や手を流水で洗い、うがいを励行して下さい。
- ⑤カットした切り屑は袋に入れ、他の人が触れないようにして下さい。
- ⑥作業着は他の衣類等とは別に洗濯して下さい。
- ⑦アレルギー体質の方は、特に上記各事項についてご注意下さい。

以上